

令和7年度 学校だより

令和8年1月30日



# にしはら

2月号

渋谷区立西原小学校

## 「シブヤ未来科」は自他の幸せを願う心

副校長 中町 千恵子

私たちの大切な学び舎「西原小学校」は、夏のうだるような暑い日も、震えるような極寒の日も、雨の日も晴れの日も、凜とした姿そのままに私たちを包み込んでくれています。きっと、いつも西原小学校の子供たちの成長を優しく見守ってくれていることなのでしょう。もうすぐ令和7年度が終わろうとしています。楽しい思い出ばかりではなかったかもしれませんが、振り返った時に、子供たちが自分の未来に希望を見出すことができた一年間であってほしいと願っています。

【シブヤ未来科の学習から】1年生は、就学前オープンスクールで近隣の園児たちと一緒に楽しく交流しました。この日に向けて、園児のみんなに楽しんでもらおうと一生懸命に計画・準備をしました。

2年生は、生活科「めざせ！やさいづくり名人」の学習で、野菜を育てることの難しさに直面しながらも、美味しい野菜を作って家族に食べてもらいたいとあきらめず挑戦しました。

3年生は総合的な学習の時間で、西原の町の良いところをたくさん発見しみんなにも知ってほしいと「西原カルタ」を作りました。西原の町をもっと素敵な町にしたい！そんな思いが溢れました。



5年 研究授業



6年生 コマーシャル

4年生は、総合的な学習の時間の「誰もが幸せになるために」の単元で自分たちにできることを考え、高齢者の方との交流会を計画しました。「高齢者の皆さんに喜んでもらいたい、楽しんでもらいたい。」と試行錯誤を繰り返し、工夫しながら当日を迎えました。

5年生は、西原の地域の環境に目を向け、誰もが暮らしやすい町づくりをしようと持続可能な社会の担い手として自分たちにできることを探究しました。計画・実行へと協働の学びを進めています。

6年生は、総合的な学習の時間「西原スマイルアッププロジェクト」で、西原の地域の魅力を最大限に引き出し、みんなが笑顔になる西原にするために自分たちができることについて探究してきました。地域の商店会にスポットを当て、コマーシャル作りをしています。プロの専門家の方にアドバイスを受けながら本格的なコマーシャルにブラッシュアップしています。

4月から取り組んできた「シブヤ未来科」の一部を紹介いたしました。どの学年も、探究の学びの中にあるのは、いつも「相手意識」でした。相手に「喜んでもらいたい。」という思いから、知恵が沸き意欲が高まり、行動へと繋がっていきました。学びを進める中で、周りの人の喜びがそのまま自分の喜びになっていることを子供たちも気付いていることなのでしょう。そして、人の幸せを願って行動しようとする心がすでに尊く崇高であり、誇らしいことなのだと子供たちに伝えたいです。「シブヤ未来科」は、単なる探究の学習ではなく、友達も家族も地域の人も、自分自身も含めてすべての人への思いやりと優しさの学びであり、自他共の幸せを願う心を育てる学習であると思います。私もまた、「シブヤ科」「シブヤ未来科」を6年間研究してきた者として、西原の地域に関わるすべての人への感謝の気持ちを忘れずに、これからも皆様の幸せを祈って参ります。



2月28日(土)の学校公開では、シブヤ未来科の学習に取り組んできた子供たちの学びの姿をご覧いただきたいと思います。ご多忙とは存じますがぜひご来校くだされば幸いです。

これからも皆様のご支援を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

